

いぬやま 市議会だより

平成27年

(2015)

4月1日発行

臨時号

((《編集発行》犬山市議会広報委員会 <http://www.city.inuyama.aichi.jp/>))

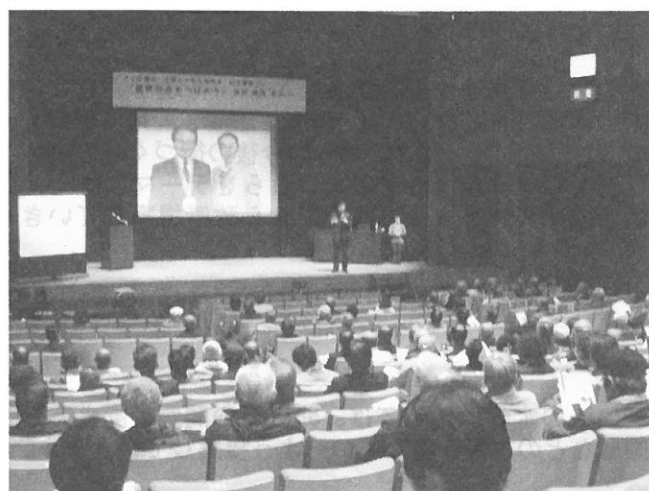
市民との意見交換会を開催!!



▲ 民生文教委員会分科会(3ページ)



▲ 総務委員会分科会(2ページ)



▲ 記念講演会の様子(2ページ)



▲ 建設経済委員会分科会(4ページ)

主な内容

▼ 市民との意見交換会・・・2～4ページ
(市民の皆さまのご意見とその回答)

▼ 議員研修会・・・4ページ

1月10日南部公民館にて市民との意見交換会を行いました。第1部として特別講師の記念講演会、第2部は各常任委員会による分科会を開催しました。第1部・第2部共に多くの市民の皆さまにご参加いただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

建設経済委員会 「歩きたくなるみちづくり、まちづくり」

委員長：矢幡秀則 副委員長：市橋円広 委員：水野正光、小林敏彦、中村貴文、ピアンキアンソニー、三浦知里

No	市民からの意見	建設経済委員会の見解
1	犬山市の作成しているウォーキングマップに間違いがある。	第2版ですでに訂正済みです。
2	犬山緑道の整備が他市よりかなり遅れているのではないか。	犬山市を通して、国交省・木曽川上流河川事務所に要望していきます。  委員会でも現地も確認
3	ウォーキングロードに設定されている道に、車が多く通行する箇所があり、歩きにくい。	できるだけ、歩くのに安全な道を示しています。しかし、ウォーキングロードすべてを車が通らない道とするのは現実的に難しいと考えます。
4	市に広域的なウォーキングコースを設定できないか。	実際、すでに広域的なウォーキングコースを設定しています。また今後計画をしているところもあります。
5	駅東の県道の中央分離帯が雑草が生えて見苦しいが何とかならないか。	現在、年1回草刈りを行っていますが、より回数を増やすよう、県に要望いたします。
6	尾北自然歩道の整備状況について(五条川ウォーキングトレイル事業について)	平成27年1月現在、朝日橋の東を工事中です。今後、富士橋までの区間を平成28年度に整備していく予定です。
7	山ノ田公園の街路樹の剪定や散歩道が除草されていないため歩けない。  現地の様子	以前から要望を受けている箇所ですので、引き続き、強く要望します。
8	車道に自転車専用ゾーンを整備できないか。	市全体に専用道を設置するのは現状では難しいと考えます。



▲講演会中の本田敏秋 遠野市長

平成23年に発生した3・11東日本大震災において、甚大な被害が発生した岩手県沿岸部の各都市に対し、災害発生後、内陸部からの後方支援活動を実施した遠野市長の本田敏秋氏を講師としてお招きしました。

近い将来に予想される「東海・東南海地震」に備え、大規模災害時における後方支援活動ができる仕組み作りが必要なることを実例を基にご講演いただきました。

震災時の体験から学ぶ
(1・29 議員研修会開催)

【犬山市議会へのご意見・ご要望などは】

〒484-8501 犬山市大字犬山字東畑36番地

犬山市議会事務局 宛

電話：0568-44-0307(直通)

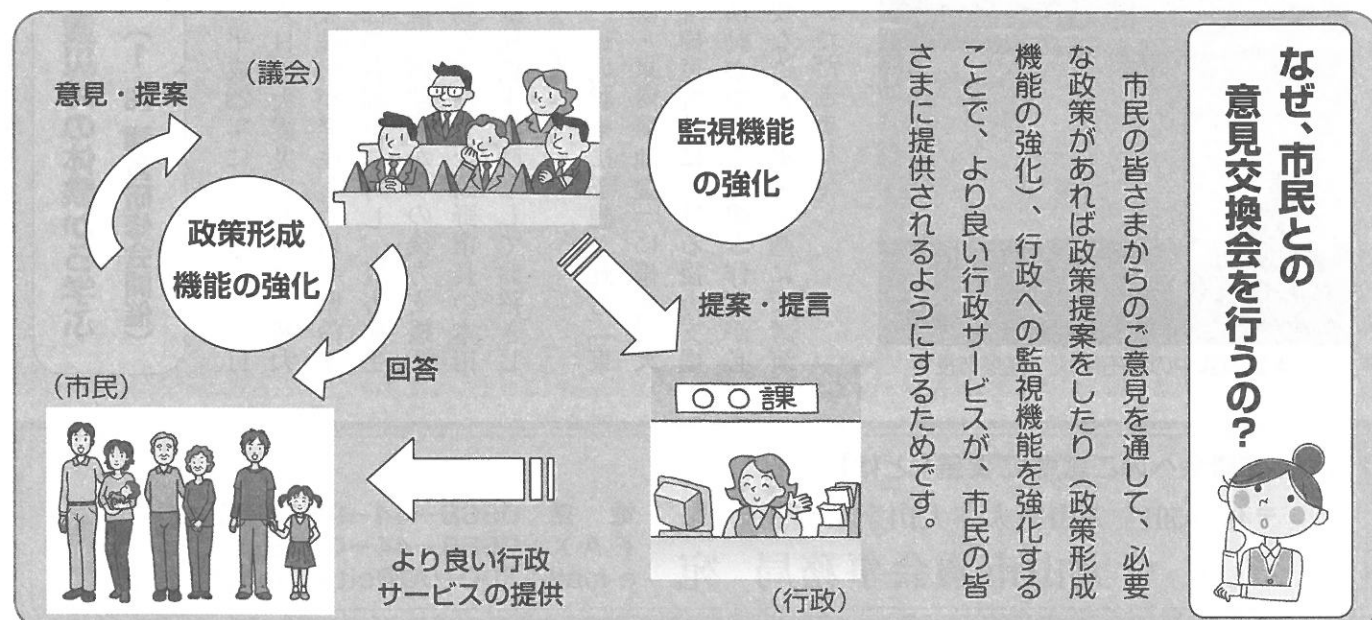
FAX：0568-44-0368

e-mail：300100@city.inuyama.lg.jp

民生文教委員会 「健康な体づくりについて」

委員長：後藤幸夫 副委員長：柴田浩行 委員：岡村千里、吉田鋭夫、稲垣民夫

No	市民からの意見	民生文教委員会の見解
1	犬山市が健康について、どんな取り組みをしているのか。	10年単位で健康プランを作成し、広報等において周知しています。さら・さくらにて冊子を配布しています。
2	犬山市の健康寿命は？	男性が80.22歳、女性が82.9歳です。（平成23～25年の年齢階層別人口、死亡数より）
3	市職員を呼んで地域で講演ができないか。高齢になると外へ出て行くことが困難になる。	出前講座にて取り組んでいます。社会教育課が窓口です。ご利用ください。
4	地域でいきいき体操を月2回実施している。広げていけたらと思う。 筋トレやダンベル体操をしている。気軽にできる運動を続けることが大切。	このような活動を広げていけるよう支援していきます。
5	健康に関して、どのくらいの予算が使われているのか。	健康づくりに関しては平成26年度当初予算で607,381千円です。
6	ウォーキングロードが必要。	犬山市として五条川にウォーキングロードを整備中です。新郷瀬川と半之木川についても順次整備していきます。
7	ハード面のみでなく、ソフトウェア作りも大切。	市民活動の一環としてロビーコンサート等を開催してもらうよう働きかけます。
8	高齢者だけでなく、乳児や子どもの健康づくりにについても取り組むべき。	市民全体で健康づくりに取り組んでおりますので、ご協力ください。



平成27年1月10日開催

市民との意見交換会

市民の皆さんのご意見とその回答



▲記念講演（講師：湯浅景元教授）

犬山市議会は、「犬山市議会基本条例」に基づき、市民の皆さまのご意見を市政運営に反映させていくため、4回目の「市民との意見交換会」を開催いたしました。

第1部は、中京大学スポーツ科学部教授の湯浅景元氏による「健康寿命をのばそう」とのテーマでご講演いただきました。

第2部は、各常任委員会です。それぞれのテーマについて市民の皆さまと意見交換を行いました。

その中での主なご意見について各委員会で見解をまとめましたので紹介します。

総務委員会 「人口減少中の犬山市・・・そもそも人口減って悪いこと？」

委員長：岡 覚 副委員長：鈴木伸太郎 委員：久世高裕、大沢秀教、柴山一生、上村良一

No	市民からの意見	総務委員会の見解
1	総務委員会として、人口減少にどのように取り組んでいくのか。	人口減は各自治体が抱える大きな課題であり、市の人口も、自然減▲200人、社会減▲200人となっています。総務委員会としては、少なくとも社会減は食い止めるべきであると考えます。また、無理に転入者を増やすことよりも、今住んでいる市民が、どうやったら幸せに暮らしていけるか、ということも考えていく必要があります。
2	人口の社会減は食い止めるべき。	人口の社会減を食い止めるために、行政サービスの向上は重要であり、医療、教育、若者、雇用、子育て、産業、健康、買い物、これらは今後の街づくりのキーワードです。市議会では、これらをテーマにした事例を研究し、さまざまな立場から政策提案していきます。
3	良質な住宅、住みやすい街をつくっていけば若者のUターンなど、人は寄ってくる。	
4	今、犬山市に住んでいる人が幸せになれる制度を充実させて欲しい。（ゴミ袋など）	
5	出産費用の事前償還など、若い人々が産み育てやすい環境整備をしてほしい。	若い人の定住については、非正規の問題、働き方の問題などの対策を講じていくよう提案していきます。
6	不育症が問題となっている。子育て環境整備のための条例をつくってはどうか。	
7	国の方針を犬山はどう捉えているのか。	国の方針に沿うのではなく、犬山独自の施策、例えば、市内の各地域で住民同士が協力できる施策などが必要であると考え、市議会から行政にアプローチしていきます。
8	投票率が低い、投票所へのアクセス、場所などを考え直してほしい。	投票率については、スーパーなどで投票できる事例など、手軽に期日前投票ができる制度を政策提案していきます。